

記者発表資料



とうきょう わんがんどうろ
国道357号（東京湾岸道路）
ふくaura
福浦地区4車線化整備後の
交通状況について

さちうらにちようめこうさてん かなざわしばちようこうさてん
— 幸浦二丁目交差点～金沢柴町交差点間 —

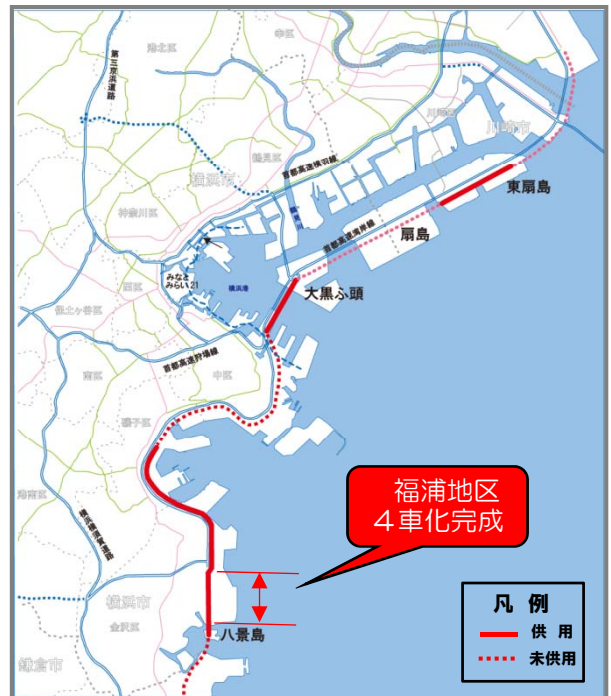
国道357号の福浦地区については、平成24年3月26日（月）に4車線整備が完成しました。

1.6kmの福浦地区4車線化整備後の交通状況の変化についてお知らせします。

国道357号の渋滞が緩和

平日の朝・夕方に最大350mあった渋滞が改善され、交通の流れが円滑になりました。

詳しくは次頁以降をご覧ください。



【位置図】

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-311-2981（代表）

副所長

まつやま たかお
松山 隆雄

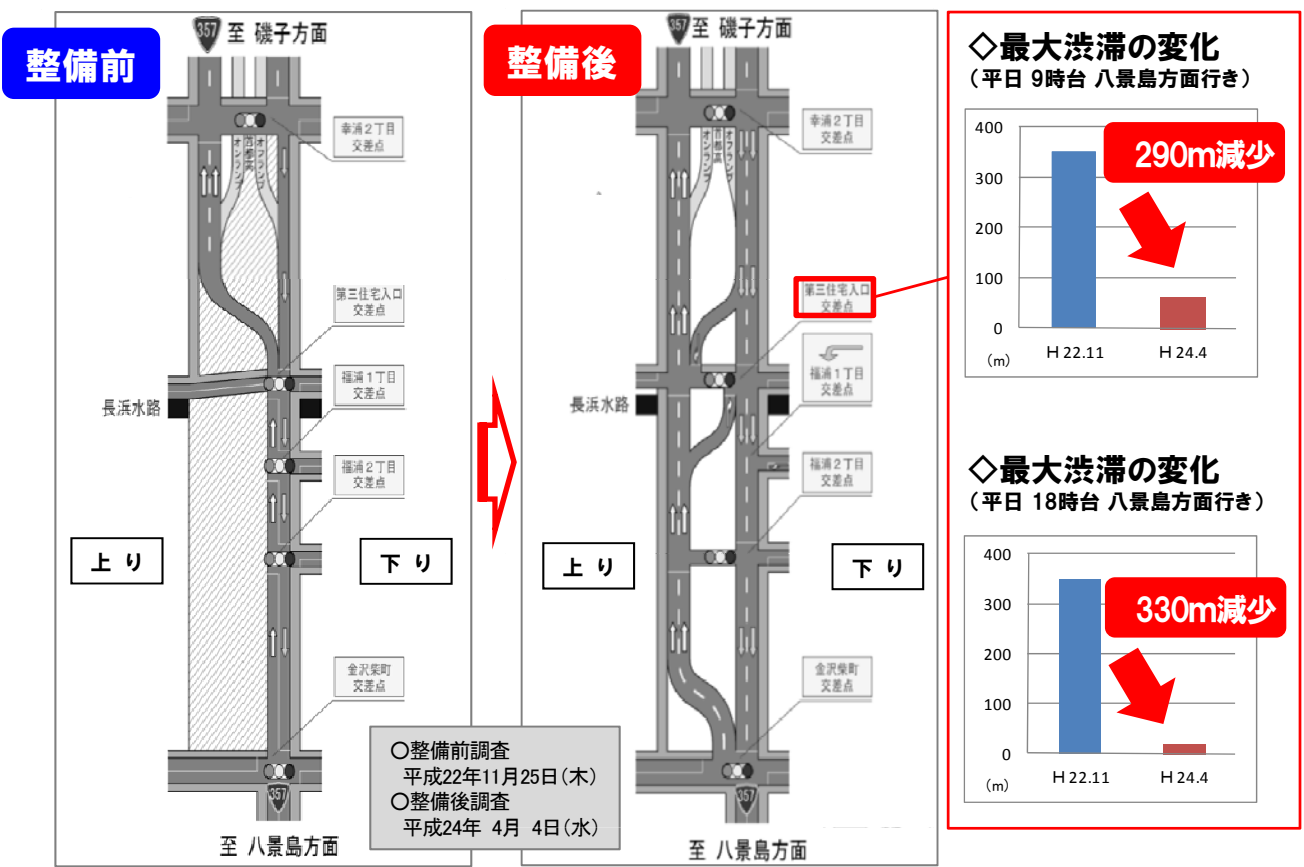
調査課長

こさわ ともゆき
小澤 知幸

国道357号福浦地区では第三住宅入口交差点を中心とした渋滞が発生していましたが、今回4車線化整備に伴い、渋滞が緩和されました。

国道357号の渋滞が緩和

・4車線化整備により、第三住宅入口交差点(八景島方面行き)では、平日の朝(9時台)に最大約350mの渋滞が約60m、平日の夕方(18時台)に最大約350mの渋滞が約20mとなり、渋滞が緩和されました。



◇整備前(H22.11撮影)



◇整備後(H24.4撮影)



※第三住宅入口交差点から磯子方向を臨む

国道357号 東京湾岸道路の事業概要

(参考)

～概要～

国道357号東京湾岸道路は、東京周辺の横須賀、横浜、川崎、東京、千葉、木更津などの諸都市を連絡する延長約160kmの幹線道路であり、内陸部の交通混雑の緩和を図るとともに、湾岸に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化を目的とした道路です。

国道1号、15号等の内陸部の交通混雑を緩和し、京浜地域における東京港や横浜港の中枢港湾や羽田空港を支えるネットワークを構築し、物流の効率化にも貢献します。

また、国際コンテナ戦略港湾として南本牧ふ頭高規格コンテナターミナルの整備による取り扱い貨物量の増加に伴うネットワークの構築、物流の効率化にも貢献します。



～国道357号 神奈川県区間～

神奈川県内の国道357号は、川崎市浮島から横須賀市夏島町区間が昭和52年、昭和63年に都市計画決定されました。昭和52年から事業に着手し、平成16年度までに、川崎市川崎区東扇島の延長約3.0km、横浜市区間では、磯子区新磯子町から金沢区八景島間の延長約9.2km、横浜ベイブリッジ一般部の延長2.2km、計画延長35.1kmのうち合計約14.4kmを順次暫定供用しています。